

地域の方々の協力により河川内の樹木を伐採

～北上川や支川雫石川の22区画で実施中～

岩手河川国道事務所では、管理する北上川本川及び支川雫石川において、洪水の流下等に支障となっている河川内の樹木について、昨年11月に地域住民の方々を対象として伐採者を公募しました。

この募集は当事務所としては初の試みでありましたが、27名からの応募があり、現在22区画で伐採が進められています。

3月25日までの期間で、約29,600m²（サッカー場約4枚）の面積を地域の方々の協力により伐採する予定です。

【伐採の目的】

公募伐採は、洪水時及び河川巡視時等で支障となる河川内の樹木を地域の方々の協力により伐採するもので、伐採した木は無償で伐採者に提供する事を条件で実施しています。

この取り組みは、伐採費用のコスト縮減と伐採木の有効活用を図る事を目的としており、東北地方整備局では昨年度より本格的に実施され、当事務所としては初の試みとなります。

【伐採実施箇所】

①北上川本川・・・奥州市前沢区白山字西谷記地先（大曲橋下流左岸）

18区画に対して5名の応募

現在約9,600m²を伐採対象とし4区画で伐採実施

②雫石川・・・盛岡市上太田上川原地先（舟場橋下流右岸）

18区画に対して22名の応募

現在約20,000m²を伐採対象とし18区画で伐採実施

【コスト縮減】

公募伐採により、全体で約600万円（伐採・集積分）のコスト縮減が図られます。

【伐採木の活用】

伐採者にアンケートとしたところ、全ての方が「薪」に使用すると答えています。



雫石川の伐採者による作業状況

<発表記者會>岩手県政記者クラブ

[お問い合わせ先]

国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所

河川管理課長 土田 恒年（つちだ つねとし）

盛岡市上田四丁目2-2 tel 019-624-3281 fax 019-624-3276